

東京・海の森 アクアスロン2026

同時開催

第4回日本アクアスロン選手権

第2回日本U15アクアスロン選手権-JOCジュニアオリンピックカップ

第2回日本エイジグループアクアスロン選手権(2026/東京・海の森)

大会プログラム(最終要項)



開催地 **海の森水上競技場**

開催日 **2026年7月12日(日)** 雨天決行

主催 一般社団法人 東京都トライアスロン連合

■ 祝辞	P.2	■ 熱中症対策について	P.7
■ ご挨拶	P.3	■ その他(昼食・補償・トイレ他)	P.7
■ 大会概要・大会役員	P.4	■ 大会参加の方へ	P.8~10
■ 当日のタイムスケジュール	P.5	■ 出場選手スタートリスト	P.11~16
■ 競技距離・表彰対象	P.6	■ 競技コース	P.17,18
■ 競技に必要な物・支給品	P.6	■ 会場周辺MAP・アクセス・連絡先	P.19
■ 大会(競技)実施の決定等	P.6		



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

祝 辞

東京都知事
小池 百合子



「東京・海の森アクアスロン 2026」が、東京 2020 大会のレガシー施設である、ここ海の森水上競技場で開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

第4回日本アクアスロン選手権、第2回日本 U15 アクアスロン選手権／JOC ジュニアオリンピックカップ、第2回日本エイジグループアクアスロン選手権を兼ねて開催される、アクアスロンの最高峰といえる本大会が、都民に広く親しまれるとともに、アクアスロン競技の普及発展に大きく寄与することを期待しています。

参加する選手の皆さん、日々の厳しい練習の成果を存分に発揮するとともに、競技を愛好する仲間との交流を深めることで、思い出に残る大会にしてください。

スポーツが日常にとけ込み、誰もが健やかに、いきいきと暮らせる日々の実現が、一人ひとりを輝かせ、私たちの社会の発展を支えます。全ての都民・国民の皆様が、スポーツを通じて感動を分かち合える「スポーツフィールド・東京」の実現に向け、取組を更に加速させてまいります。

昨年開催された世界陸上やデフリンピックを通じ、更に高まったスポーツへの関心と意欲を持続させ、スポーツが持つ力を最大限に活かすことで、笑顔と希望に満ち溢れる未来を一緒に創り上げていきましょう。

結びに、本大会の御成功と、一般社団法人東京都トライアスロン連合をはじめ関係者の皆様の益々の御活躍を祈念し、御挨拶いたします。

ご挨拶

公益社団法人トライアスロンジャパン

会長 岩城 光英



日頃からトライアスロン、パラトライアスロンそして関連マルチスポーツの普及と発展にご支援とご協力をいただき心から御礼を申し上げます。この度「第4回日本アクアスロン選手権(2026/東京・海の森)」、「第2回日本U15アクアスロン選手権/JOCジュニアオリンピックカップ(2026/東京・海の森)」、「第2回日本エイジグループアクアスロン選手権(2026/東京・海の森)」と併催である「東京・海の森アクアスロン2026」が開催されるにあたり、トライアスロンファミリーを代表して、心から皆さまを歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり、大会運営にご尽力されてきた実行委員会の皆さま、関係各位のご尽力に深く敬意を表します。

本大会は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーである「海の森水上競技場」を舞台に開催される、日本を代表するアクアスロン大会です。スイムとランというシンプルかつ奥深い競技構成の中で、選手たちはそれぞれの限界に挑み、日頃の鍛錬の成果を競い合います。

エリート選手によるハイレベルなレースはもちろん、U15世代やエイジグループ選手まで、多様な世代が同じフィールドに集い、アクアスロンならではの一体感と魅力を体感できる大会となっています。

水辺と都市空間が融合した海の森ならではのロケーションの中で、スピード感あふれるレース展開、そして競技者同士が互いに称え合うアクアスロン文化を、ぜひ存分に楽しんでいただければ幸いです。

本年より公益社団法人トライアスロンジャパン*は新たなロゴのもと活動を開始いたしました。挑戦とつながり、そして持続可能な発展への思いを込め、全国各地の大会とともに競技のさらなる充実を図ってまいります。また、「トライアスリートのために」という理念のもと、会員自動付与の「トライアスロン安全保険」をはじめとする安全・安心な競技環境の整備を推進し、選手とご家族が安心して挑戦できる基盤づくりを全国のトライアスロン大会の皆様とともに努めております。

本大会が成功裏に開催され、地域のさらなる発展に寄与するとともに、ご参加の皆様がそれぞれの目標を達成し、最高の成果を持ち帰ることができることを心より祈念申し上げます。

※ 2025年7月1日、公益社団法人日本トライアスロン連合から名称変更

主催者あいさつ

選手の皆さん、「東京・海の森アクアスロン2026」へようこそ!皆様のご参加を心より歓迎いたします。

本大会の開催にあたり、東京都をはじめとする関係機関、地域の皆様、そして大会運営を陰で支えてくださるボランティアの皆様から多大なるご支援とご協力を賜りました。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

2022年の産声から数え、本大会は皆様に愛されながら、今年で5回目の節目を迎えることができました。都心から抜群のアクセスを誇る利便性、波が穏やかで誰もが安心して挑めるオープンウォーター、そしてTOKYO2020の輝かしいレガシーである「海の森水上競技場」。この最高の舞台は、まさに私たちの誇りです。初挑戦のフレッシュなランナーから、経験豊かなベテランのエイジグルーパーまで、誰もが主役となり、競い合い、交流できる場として、本大会はアクアスロンの普及と振興を力強く牽引してまいります。

本日この会場では、11月の日本トライアスロン選手権へとつながる「第4回日本アクアスロン選手権」を筆頭に、「第2回日本U15アクアスロン選手権/JOCジュニアオリンピックカップ」、「第2回日本エイジグループアクアスロン選手権」が同時開催されます。まさに世代を超えた国内最高峰のアクアスロンの熱戦が、ここ海の森で繰り広げられます。皆様、どうぞ選手たちの情熱あふれる走りに、惜しみない拍手と温かいご声援をお願いいたします。

そして、今年は庭田清美さんと山本光宏さんをMCにお迎えし、大会を大いに盛り上げて頂きます。

いま、東京では各市区加盟団体が中心となり、アクアスロンの輪が大きく広がっています。東京は名実ともにアクアスロンのメッカであり、この海の森水上競技場こそが、日本の未来のアクアスロン競技を盛り上げる「新たな聖地」とであると確信しています。

最後になりますが、安全に、そして最高のパフォーマンスを楽しむために、お手元のプログラム(最終要項)に記載されたルールや注意事項を競技前に必ずご確認ください。

今日という日が、皆様にとって生涯記憶に残る素晴らしい一日となりますように。日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、海の森の潮風を感じながら、フィニッシュロードまで駆け抜けてください!

公益社団法人 トライアスロンジャパン 理事
一般社団法人 東京都トライアスロン連合 会長

大会会長 大村 真人

大会概要

主 催	： (一社)東京都トライアスロン連合(以下TMTU)
共 催	： (公社)トライアスロンジャパン
後 援	： 東京都、(公財)東京都スポーツ協会、NPO法人日本ビーチ文化振興協会 江東区、江東区スポーツ協会
協 賛	： 天乃屋、大森造園建設、ローソン、味の素、 Champion System Japan、3X-SPORTS
協 力	： 海の森水上競技場管理事務所、深川消防署、昭和医科大学江東豊洲病院、セレスポ、 トライアスロンジャパン東京ブロック協議会、エスビーアール、チームペガサス、 ネオシステム、シーフォース、エクセリ、新宿氷業、スポーツアシスト、 逗子サーフライフセービングクラブ、正協印刷
支 援	： 独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)
M C	： 庭田 清美、山本 光宏

大会役員

■ 大会顧問	岩城 光英 (トライアスロンジャパン会長)	■ 審判長	阿部 拓希(エイジ選手権)、岡本 伸久(エイジ)
■ 大会会長	大村 真人(TMTU会長)	■ CRO	前田 隆司(TMTU)
■ 実行委員長	片倉 義之(TMTU)	■ 大会審議委員	片倉 亜矢、大村 真人、井口 大介
■ 技術代表	片倉 亜矢(エイジ、エイジ選手権)		

当日のタイムスケジュール

■ 東京・海の森アクアスロン2026/第2回日本エイジグループアクアスロン選手権

各種イベント内容	カテゴリー		
	スプリント 一般の部 高校生の部 中学生の部 パラの部	スタンダード 一般の部 リレーの部	エイジ選手権 男子 女子
選手受付 開始	7 : 30	7 : 30	9 : 00
選手受付 終了	8 : 30	8 : 30	9 : 50
トランジション オープン	7 : 30	7 : 30	9 : 00
トランジション クローズ	8 : 40	8 : 40	9 : 50
試泳 開始	8 : 40	8 : 40	10 : 00
試泳 終了	8 : 50	8 : 50	10 : 15
アンクルバンド 配布開始	8 : 40	9 : 05	10 : 00
アンクルバンド 配布終了	8 : 50	9 : 14	10 : 15
競技開始 SP 一般の部 男子	9 : 00		
競技開始 SP 一般の部 女子	9 : 02		
競技開始 SP 高校生 / 中学生 / パラ	9 : 04		
競技開始 SD 一般の部 男子		9 : 15	
競技開始 SD 一般の部 女子 / リレー		9 : 17	
競技開始 エイジ選手権 男子			10 : 25
競技開始 エイジ選手権 女子			10 : 28
フィニッシュ目安	10 : 00	10 : 25	11 : 10
表彰式	10 : 30	10 : 30	11 : 55

■ 第2回日本U15アクアスロン選手権－JOCジュニアオリンピックカップ－

11 : 40 日本 U15 アクアスロン選手権男子 競技開始

11 : 55 日本 U15 アクアスロン選手権女子 競技開始

12 : 50 ～ 日本 U15 アクアスロン選手権表彰式

■ 第4回日本アクアスロン選手権

12 : 45 日本アクアスロン選手権女子 競技開始

13 : 50 日本アクアスロン選手権男子 競技開始

14 : 45 ～ 日本アクアスロン選手権表彰式

競技距離・表彰対象

■競技距離

スタンダード	エイジ選手権	スプリント
第1ラン：2.5km (1周) スイム：1,000m (2周) 第2ラン：2.5km (1周)	スイム：1,000m (2周) ラン：5km (2周)	スイム：500m (1周) ラン：2.5km (1周)

※水温が32℃以上の場合はスタンダードにおいて、水温が33℃以上の場合は全種目においてスイムを中止しランのみの競技となります。

■表彰対象

- ◎ 一般の部(スタンダード)：総合男女1～3位、年代別男女1位(5歳刻みを予定)
- ◎ リレーの部(スタンダード)：総合1位
- ◎ 一般の部(スプリント)：総合男女1～3位
- ◎ 高校生の部(スプリント)：総合男女1～3位
- ◎ 中学生の部(スプリント)：総合男女1～3位
- ◎ パラの部(スプリント)：カテゴリー別表彰を予定
- ◎ エイジ選手権：年代別男女1位(5歳刻み)

※入賞賞品は当日渡しのみとなります。表彰式では賞状と副賞をお渡しします。

競技に必要な物・支給品

競 技	各自持参	レース当日大会で支給
スイム	●スイムウェア ●ゴーグル ●ウェットスーツ (ウェットスーツは、スタンダードでは任意、それ以外は推奨とします。 パラの部、中学生の部はウェットスーツの着用が義務となります。)	●ナンバーカード 1枚 (ランで前面に表示して競技してください。)
ラン	●ランニングウェア ●シューズ(上半身裸などで走ることは禁止します。)	●スイムキャップ(ウェーブ毎に色が異なります) ●ボディナンバーステッカー ●アンクルバンド(計測チップ) 試泳前にお渡しします。

※ナンバーカードをつけて泳ぐことを禁止します。

※ナンバーベルトの使用を推奨します。

※アンクルバンドは、競技中必ず着用してください(着用していない場合は、タイムを計測できないため記録が取れません)。また、競技終了後Finish地点にて回収いたします。紛失した場合は実費弁償となります。

受付時に支給品をご確認ください(上記以外、協賛協力団体支給品各種、昼食チケット)。

●アンクルバンド：試泳前に配布します(スタンダードはランスタート前)。左右どちらの足首につけても構いません。アンクルバンドを受け取りましたら、スタートエリアからの移動はできませんのでご了承ください。

大会(競技)実施の決定等

原則雨天決行としていますが、悪天候の場合は大会当日06:00に競技実施検討会を開催し、開始・遅延・中止等のアナウンスをホームページ上にて行います。

気象状況、天災、官公庁指示等によって、競技の中止、距離短縮、競技距離の変更などもあります。何卒ご理解とご了承のほどお願い申し上げます。

熱中症対策について

各地で熱中症で倒れる方が急増しています。睡眠と休養を十分とり、万全の体調で熱中症対策には特に気をつけて臨んでください。以下、熱中症の対策と救急措置をご紹介します。

熱中症とは？【症状などにより次のように分類、熱射病が最も危険】

- ・熱射病（異常体温上昇、言動や意識障害、頭痛・嘔吐・めまい等伴う／体温調節機能失調による）
- ・熱けいれん（筋肉の痛みを伴った発作的けいれん／塩分不足による）
- ・熱疲労（激しい口渇・尿量減少・めまい・感覚異常／大量発汗による血液濃縮）
- ・熱失神（めまい・失神・顔面蒼白、呼吸回数増加／血管拡張により血圧低下し脳血流減少）

対策は・・・？【選手の心がけ】

- ・早め早めの水分補給（これに尽きます。ノドが渴いたと思ったら手遅れです!）
- ・冷水をかける
- ・通気性のよいウェアや帽子を着用

救急措置は・・・？【現場の対応】

- ・ウェアを緩めて涼しい所に安静にする。（安静中は一人にさせない）
- ・足を高くし、手足を末梢から中心部に向けてマッサージするのも有効である。
- ・水やスポーツドリンクの摂取により、水分や塩分を補給する。
- ・症状が軽いと思われる場合でも、軽視せずに医師による診療を受ける。

※本大会では競技終了後も給水できるようフィニッシュエイドに給水所を設けますので、各自で適宜給水を行ってください。

その他

■ 昼食

参加選手の皆様には、1人1枚の海の森チケット（800円相当分）を準備しております。大会当日の受付にてお渡ししますので、フィニッシュ後にキッチンカーにてお引換えください。食事はグラウンドスタンドの座席又は艇庫棟2階の食堂（180席）をご利用ください。それ以外での食事はしないようにお願いします。

■ 大会による補償

引受保険会社：AIG損害保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（賠償大会保険）

補償内容：死亡・後遺障害1,500万円、入院給付金日額5,000円（180日限度）、通院給付金日額2,500円（90日限度）、賠償大会保険5億円

また、2026年度トライアスロン都道府県競技団体・学連登録者にはトライアスロン安全保険が自動付帯します。

詳しくは右記をご覧ください。<https://www.jtu.or.jp/join/insurance/safetysports>

■ 保険証の持参について

選手の方は、当日、健康保険証を持参してください。

■ トイレ

グラウンドスタンド棟1階にあるトイレをご利用ください。また、艇庫棟1階の更衣室近くにもトイレがあります。

■ 更衣

更衣室は艇庫棟1階にあります。選手はシャワーも無料で利用できます。

■ ゴミ

ご自身のゴミはお持ち帰りいただきますようご協力をお願いいたします。また極力ゴミを排出しないよう、エコ活動にもご理解をお願いいたします。なお、大会で用意したお弁当の空き箱については配布場所にて回収いたします。

■ 写真撮影

大会主催者から特別に許可を得た業者等が写真撮影を行います（スタッフ用ビブスを着用しています）。大会終了後HPから選手の皆様に提供します。

また、大会TOなどが記録等のために写真を撮影することがあります。撮影された写真の帰属はTMTU及び大会実行委員会とさせていただきます。TMTUのSNSやホームページ等で使用させていただく場合があります。写真の公開が不都合な選手は、事前にTMTU事務局にお申し出ください。

■ 荷物預かり

レース準備後、レースに必要な荷物は有料（200円）でお預かり可能です。

大会受付までお申し出ください。（貴重品はお預かり対象外となります）

■ 競技説明会の資料確認

競技説明資料はHPに掲載いたします。必ずご確認をお願いします。レース当日の受付時に競技説明資料を確認したかについて確認を致しますので、それをもって競技説明資料を確認したものとみなします。

大会参加の方へ

■受付について

- ◎どのカテゴリーの方も、開門時間以後は会場に入場できます。選手受付については、スケジュールに記載のカテゴリーごとの時間に、受付へお越しください。
- ◎受付場所は、グランドスタンド棟(駐車場側)にあります。

■選手待機場所

- ◎グランドスタンドの座席とグランドスタンド棟第4会議室(男子)ラウンジ(女子)を、選手の待機場所とさせていただきます。

■レース前の準備

- ◎ナンバーカードを1枚、ラン競技で前面に表示してください(ナンバーベルト推奨、大会側でもゴムベルトを若干用意、安全ピンの使用は禁止します。トランジションなど素足で歩く場所があり危険防止のため)。

■大会ルールについて

- ◎基本的に「トライアスロンジャパン競技規則(2026年2月改訂版)」に従って実施いたします。また、この最終要項に記載されている事項をローカルルールとして採用します。協議が必要な事項が発生した場合は、審判長の裁定及び審議委員会にて判断いたします。

■ユニフォームルールについて

- ◎フロントジッパー、バックファスナーの両タイプのウェアが使用可能です。(フィニッシュ手前100mはジッパーを上げてフィニッシュしてください。上半身裸で競技はできません。)

■競技参加の流れ

<スタンダードタイプ>

- 受付を済ませ、選手待機場所にて準備してください。艇庫棟1階の更衣室を利用することが可能です。
- トランジションオープンの時間になりましたら、競技に必要なもののみをトランジションにセットしてください。
- 試泳は必須となります。スイムスタート地点から試泳が可能です。
- スイム試泳後は第1ランができる準備を行い速やかにランスタートエリアへ移動、それ以降ランスタートエリアから離れることはできませんのでご注意ください。
- スタートはウェーブ毎の一斉スタートとなります。TOの指示に従って整列し、審判ホーンの合図とともにスタートとなります。
- 第1ランでは、ナンバーカードを着用して競技してください。また、スイム用具(キャップやゴーグル)を持ってラン競技をすることは禁止です。TOが発見した場合は警告の対象となりますのでご注意ください。
- トランジション1(第1ラン→スイム)では、ナンバーカードを外し、スイムの準備をしてスイムスタート地点へ向かってください。スイム競技でウェットスーツの着用は任意ですが、ウェットスーツ未着用の場合、ナンバーカードをつけてスイム競技をした場合は警告の対象となります。海へは足から入水してください。
- トランジション2(スイム→第2ラン)では、ナンバーカードを前面に見えるように着用し、ランの準備をしてランスタートしてください。スイム道具を持ってラン競技をすることは禁止です。第1ラン同様に警告の対象となります。
- フィニッシュ後、アンクルバンドをフィニッシュエリアで回収します。
- リレーゾーンはトランジションの脇に設置します。リレーチームの次の選手は、同じチームの競技中の選手の状況を確認して、ご自身の判断でリレーゾーンにお越しください。その際、ご自身の競技ができる準備をして集合してください。
- リレーチームのアンクルバンドは一つです。リレーゾーンでアンクルバンドを次の選手に必ず引き継いでください。
- スタンダードは、競技開始1時間前の水温が22℃以下の場合、Swim1,000m-Run5kmに変更となります。ウェットスーツ着用任意、15.9℃以下の場合ウェット着用義務となるためウェットスーツを準備するようにしてください。
- 水温が32℃以上の場合スイムを中止しランのみの競技となります。

<エイジ選手権及びスプリントタイプ>

- 受付を済ませ、選手待機場所にて準備してください。艇庫棟1階の更衣室を利用することが可能です。
- トランジションオープンの時間になりましたら、競技に必要なもののみをトランジションにセットしてください。
- パラの部、中学生の部はウェットスーツの着用が義務となります。
- トランジションの準備ができれば、艇庫前でアンクルバンドを受け取り、スイムエリアへ移動し試泳を行ってください。試泳は義務となります。
- 試泳が終了したら、スイムスタート待機エリアにて待機してください。
- スタートは水中からのフローティングスタートとなります。ウェーブ每一斉スタートとなりますので、TOの指示に従ってコースロープ沿いに整列し、ホーンの合図とともにスタートとなります。
- トランジション(スイム→ラン)では、ウェットスーツ、スイムキャップ、ゴーグルを、大会で準備したカゴの中に入れてください。カゴの外に置いたままになっていた場合、警告の対象となります。ご注意ください。
- ラン競技では、ナンバーカードを前面に見えるように着用し、ランの準備をしてランスタートしてください。スイム道具を持ってラン競技をすることは禁止です。TOが発見した場合は警告の対象となります。ご注意ください。
- フィニッシュ後、アンクルバンドを回収します。
- 水温が32℃以上の場合には全種目においてスイムを中止しランのみの競技となります。

<カテゴリー共通>

- この大会ではスイムについては選手の安全のためスタンダード30分、スプリント15分(33℃以下の場合)の時間制限を設けています。また、フィニッシュ目安を設けており、ラン個別の競技でも極端に時間がかかるなど、安全と大会運営に支障があると審判長が判断した場合は、競技を中止していただく場合があります。ご了承ください。
- ラン競技ではキープレフトを厳守してください。ただし、一部海沿いを走るコースになります。
- エイドステーションはランコースに2箇所(OPEN競技は1箇所)取れるようになっています。早めに水分補給をするなど脱水症状対策をお願いします。また、使用したコップは、その場で投げ捨てず所定のゴミ箱に捨ててください。放棄すると海に落下し、回収できないゴミとなる可能性があります。ご協力ください。なおエイドステーションには水を用意します。
- スイム周回数、ラン周回数はご自身で管理してください。周回不足のままフィニッシュした場合はDNF(競技の途中棄権)となり、コースへの復帰はできませんのでご注意ください。
- ラン競技中は、競技者によるイヤホンの使用やスマホ等での写真・動画撮影は禁止します。
- 大会スタッフへの暴言や選手同士での妨害行為など、本大会参加に相応しくない行為があった場合、該当する選手はDSQ(失格)となります。スポーツマンシップに則り、笑顔でフィニッシュできるよう、皆様のご協力をお願いいたします。
- 暑い日々が続いております。熱中症には十分にご注意いただき大会にご参加ください。前日までに体調を整えていただき、こまめな水分補給など対策をお願いいたします。また、競技中も体調の不良を感じましたら、お近くのTOに声をかけていただき、勇気あるリタイアをお願いします。

<スキップについて>

本大会では、受付時の事前申告、スイム試泳後(競技スタート前)の申告により、スイムスキップが可能です。スキップを希望される選手は、お近くのTOに申告して、アンクルバンドを一度お預けください。

スタンダードの場合、スキップ後は第2ランのみ参加していただきます。それ以外のカテゴリーについては、ラン競技にご参加可能です。

スキップの申告をされた場合、記録上はDNFとし、参加したランのタイムのみ記録いたします(リザルトでは「SKIP」と表示します)。

スキップを申告された方は、TOの指示に従って、指定された時間に、スタンダードのランスタート付近に集合してください。

<レスチューブレンタルのご案内>

- ・本大会は、スイムの安全対策としてレスチューブの着用を許可します。ご利用の選手はご自身で事前のご準備をお願い致します。
- ・本大会にてレスチューブの装着を希望する選手は、以下のHPに問い合わせてください。レンタルはありません。
[RESTUBE日本総代理店 株式会社ABCデザイン]
<http://restube-jpn.com/>

<【参考】レスチューブ使用における本大会のローカルルールについて>

- ・本大会では、「レスチューブ」の装着を認めます。
- ・使用した(膨張させた)場合も、競技は継続できますが、参考記録となります。(リザルトは「RES」と表示)
- ・膨張し、休息する場合、または、膨張したままスイムを継続する場合、他の選手の邪魔にならないよう気を付けてください。

スタートリスト 2026

WAVE 1 スプリント 男子			スイムキャップ：イエロー	
レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
201	井上 博	いのうえ ひろし	1997	東京都
202	樋口 慧	ひぐち けい	1996	神奈川県
203	阿久根 成哲	あくね まさのり	1992	東京都
204	村社 龍	むらこそ りゅう	1992	東京都
205	加藤 翔一	かとう しょういち	1991	東京都
206	福田 光	ふくだ ひかる	1982	東京都
207	奥野 章彦	おくの あきひこ	1981	群馬県
208	田中 克行	たなか かつゆき	1978	埼玉県
209	永松 聡一郎	ながまつ そういちろう	1978	東京都
210	野本 剛輝	のもと まさき	1975	東京都
211	荻田 隆正	まきた たかまさ	1971	東京都
212	小森 研一	こもり けんいち	1967	長崎県
213	岡田 展生	おかだ のぶお	1965	神奈川県
214	久保田 康史	くぼた やすし	1963	東京都
215	星 和宏	ほし かずひろ	1961	埼玉県
216	庄司 功	しょうじ いさお	1956	千葉県

WAVE 2 スプリント 女子			スイムキャップ：イエロー	
レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
217	吉田 芹梨	よしだ せな	2004	神奈川県
218	真貝 葵	しんがい あおい	2000	東京都
219	佐藤 祐希	さとう ゆき	1997	東京都
220	徳原 理恵	とくはら りえ	1993	東京都
221	菅原 智香	すがはら ちか	1987	神奈川県
222	ボグダノヴァ タチアナ	ボグダノヴァ タチアナ	1979	東京都
223	中山 里奈	なかやま りな	1977	東京都
224	加藤 真実	かとう まなみ	1977	神奈川県
225	伊藤 純子	いとう じゅんこ	1968	神奈川県
226	vonderOsten Beate	フォンデアオステン ベアテ	1963	東京都

WAVE 3 スプリント 高校生 男子

スイムキャップ：オレンジ

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
227	長尾 蒼祐	ながお そうすけ	2010	東京都
228	南 皓介	みなみ こうすけ	2010	東京都
229	福田 晴	ふくだ はる	2010	東京都
230	風間 甲斐	かざま かい	2010	東京都
231	加藤 伊織	かとう いおり	2009	神奈川県
232	中村 悠人	なかむら ゆうと	2009	神奈川県
233	北野 司真	きたの かずま	2009	大阪府
234	関 兼二郎	せき けんじろう	2009	新潟県
235	岡部 慶	おかべ けい	2009	神奈川県
236	片桐 正翔	かたぎり まさと	2008	神奈川県

WAVE 3 スプリント 中学生 男子

スイムキャップ：ピンク

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
238	Ryven Harris	レイブン ハリス	2012	オーストラリア
239	宜保 昊典	ぎぼ こうすけ	2012	沖縄県

WAVE 3 スプリント 中学生 女子

スイムキャップ：ピンク

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
241	沖谷 ひかり	おきたに ひかり	2014	静岡県
242	積田 莉李	つみた りり	2011	神奈川県

WAVE 3 スプリント パラ

スイムキャップ：レッド

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	カテゴリー	都道府県
243	池田 浩昭	いけだ ひらあき	1970	TRI 4	東京都

WAVE 4 スタンダード 男子

スイムキャップ：グリーン

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
244	渡部 創平	わたなべ そうへい	2005	広島県
245	臼井 一弘	うすい かずひろ	2004	千葉県
246	vielzeuf charles	ヴィールズフ シャルル	2002	東京都
247	秋山 和海	あきやま かずみ	2002	東京都
248	中野 佑哉	なかの ゆうや	2002	東京都
249	山本 そら	やまもと そら	2001	東京都
250	山田 侑翼	やまだ ゆうすけ	2001	東京都
251	永井 陽也	ながい はるや	2000	東京都
252	高橋 竜太郎	たかはし りゅうたろう	1999	埼玉県
253	山本 耀介	やまもと ようすけ	1999	東京都
254	井口 純太	いぐち じゅんた	1999	東京都
255	長谷部 友樹	はせべ ともき	1997	東京都
256	春日 大輝	かすが だいき	1997	東京都
257	三澤 駿之介	みさわ しゅんのすけ	1995	千葉県
258	道上 雅大	みちがみ まさひろ	1995	東京都
259	今井 鷹志	いまい たかし	1994	神奈川県
260	吉谷 勇人	よしたに ゆうと	1994	埼玉県
261	大島 隆裕	おおしま たかひろ	1993	東京都
262	横渡 大輝	よこわたり だいき	1993	千葉県
263	松原 弘幸	まつばら ひろゆき	1992	神奈川県
264	亀山 啓吾	かめやま けいご	1991	山梨県
265	大西 健太	おおにし けんた	1991	神奈川県
266	角谷 将司	かどや まさし	1990	東京都
267	小林 誠	こばやし まこと	1989	東京都
268	鈴木 大翔	すずき だいしょう	1988	東京都
269	小澤 拓実	おざわ たくみ	1986	神奈川県
270	深堀 純也	フカボリ ジュンヤ	1985	東京都
271	吉岡 良	よしおか りょう	1984	埼玉県
272	脇野 公嗣	わきの まさし	1984	東京都
273	牛坂 伸也	うしざか しんや	1982	東京都
274	西崎 昌宏	にしざき まさひろ	1982	東京都
275	井谷 快平	いたに かいへい	1982	東京都
276	兼田 忠明	かねだ ただあき	1981	東京都
277	伊藤 竜広	いとう たつひろ	1980	東京都
278	中嶋 出	なかしま いずる	1980	東京都
279	高野 朋也	たかの ともや	1980	千葉県
280	河西 顕太郎	かわにし けんたろう	1980	東京都
281	入部 紘一	いりべ こういち	1979	神奈川県
282	大塚 庄一郎	おおつか しんいちろう	1979	千葉県
283	Robert Harris	ロバート ハリス	1977	オーストラリア
284	上野 諭史	うえの さとし	1976	東京都
285	喜多 智彦	きた ともひこ	1976	大阪府
286	村田 悠治	むらた ゆうじ	1976	東京都
287	中川 徹	なががわ とおる	1975	東京都
288	西本 稔	にしもと みのる	1975	東京都

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
289	高須 雄士	たかす ゆうじ	1975	東京都
290	松橋 正人	まつはし まさと	1975	東京都
291	坊野 道広	ぼうの みちひろ	1973	東京都
292	吉田 顕一	よしだ けんいち	1973	東京都
293	伊藤 功顕	いとう のりあき	1973	神奈川県
294	五十嵐 敬次郎	いがらし けいじろう	1973	東京都
295	吉澤 昭夫	よしざわ あきお	1972	東京都
296	田中 宏侍	たなか こうじ	1972	東京都
297	上原 理	うえはら おさむ	1971	東京都
298	橋場 伸一郎	はしば しんいちろう	1971	東京都
299	坂田 拓光	さかた ひろみつ	1969	東京都
300	新堀 隆章	しんぼり たかのり	1967	神奈川県
301	平山 康弘	ひらやま やすひろ	1966	東京都
302	大島 洋介	おおしま ようすけ	1966	東京都
303	西田 孝広	にしだ たかひろ	1965	福井県
304	中山 晃嘉	なかやま あきよし	1963	東京都
305	野村 均	のむら ひとし	1962	埼玉県
306	竹田 秀男	たけだ ひでお	1962	東京都
307	山下 達	やました たつる	1961	千葉県
308	徳倉 基宏	とくくら もとひろ	1960	千葉県
309	京谷 信一郎	きょうや しんいちろう	1957	東京都
310	生田 哲	いくた てつ	1956	東京都

WAVE 5 スタンダード 女子

スイムキャップ：グリーン

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
311	入部 梓	いりべ あずさ	1981	神奈川県
312	野村 美穂	ノムラ ミホ	1979	埼玉県
313	岡崎 暢子	おかざき のぶこ	1973	東京都
314	菊池 美穂	きくち みほ	1967	東京都

WAVE 5 スタンダード リレー

スイムキャップ：ホワイト

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	担 当	チーム名
331	直江 一彌	なおえ かずや	1986	第1ラン	直江夫婦
	直江 礼華	なおえ あやか	1988	スイム	
	直江 一彌	なおえ かずや	1986	第2ラン	
332	森下 夏実	もりした なつみ	1984	第1ラン	枝川のイービーと マリルとコラッタ
	森岡 博文	もりおか ひろふみ	1985	スイム	
	東 淳一	ひがし じゅんいち	1988	第2ラン	
333	夏井 和弘	なつい かずひろ	1966	第1ラン	NATSUGO
	夏井 悠多	なつい ゆうた	1995	スイム	
	後沢 広大	ござわ こうだい	1994	第2ラン	
334	宮村 啓我	みやむら けいが	2001	第1ラン	思い出づくり
	森 一爽	もり かずあき	2001	スイム	
	宮村 啓我	みやむら けいが	2001	第2ラン	

WAVE 6 日本エイジグループアクアスロン選手権【男子】

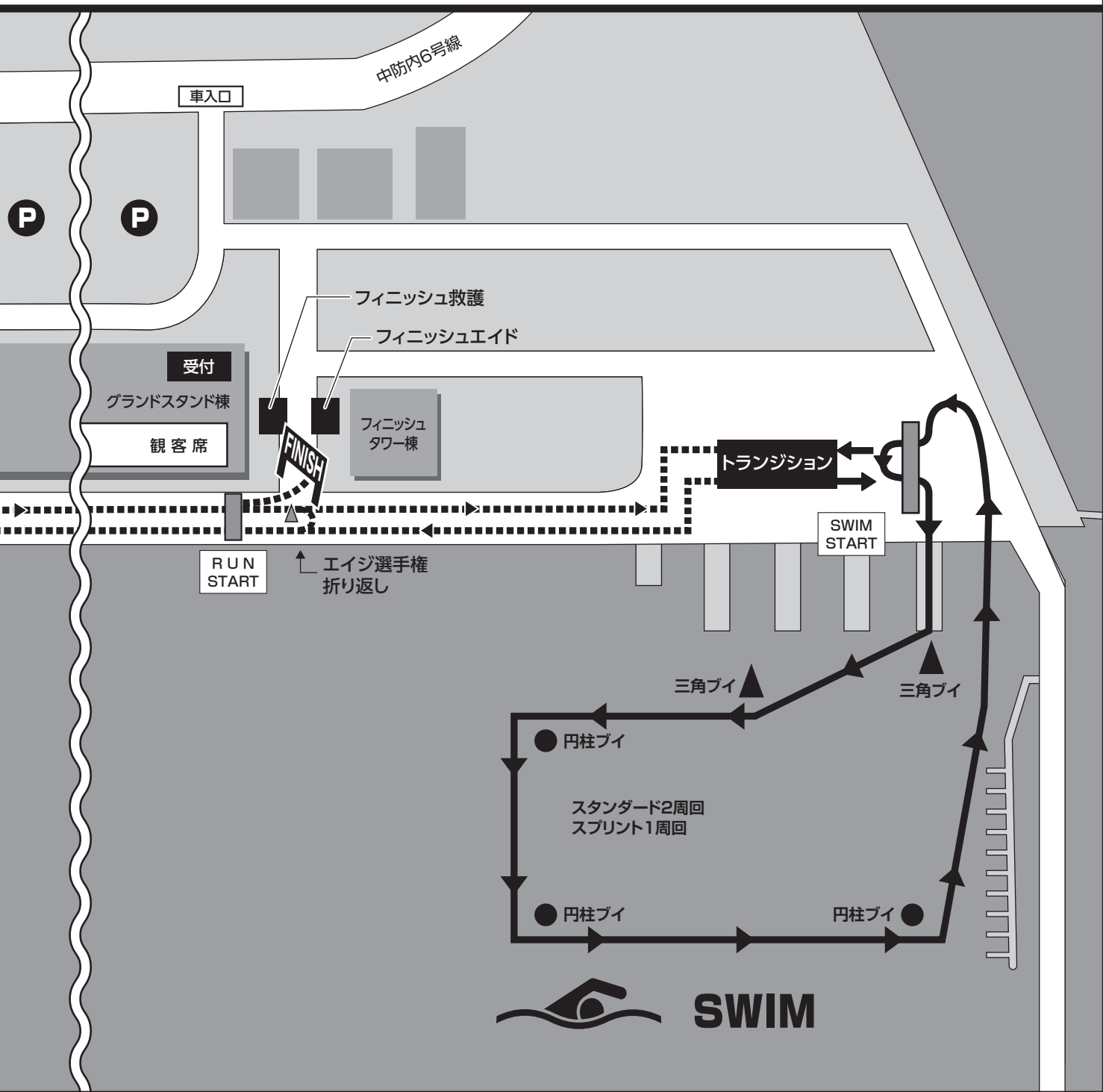
スイムキャップ:
グリーン・オレンジ・イエロー

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
101	前田 直樹	まえだ なおき	2008	長崎県
102	平松 紘一	ひらまつ こういち	2007	滋賀県
103	高宮 怜希	たかみや りょうき	2007	福岡県
104	堀川 洸生	ほりかわ こうせい	2007	大阪府
105	藤井 龍生	ふじい りゅうき	2006	神奈川県
106	渋谷 優成	しぶや ゆうせい	2002	東京都
107	武田 稔矢	たけだ としや	2001	東京都
108	芝 龍一	しば りゅういち	2001	神奈川県
109	石田 晃基	いしだ こうき	2001	沖縄県
110	入内島 友貴	いりうちじま ともき	1998	東京都
111	加塩 柚樹	かしお ゆずき	1998	神奈川県
112	内田 諒哉	うちだ りょうや	1997	神奈川県
113	松下 大輝	まつした たいき	1997	東京都
114	伊藤 太郎	いとう たろう	1995	東京都
115	鈴木 啓介	すずき けいすけ	1994	神奈川県
116	大谷 勇翔	おおたに ゆうしょう	1993	埼玉県
117	那須 玄	なす げん	1987	東京都
118	中村 貞和	なかむら さだかず	1987	東京都
119	星野 功太	ほしの こうた	1984	東京都
120	高田 寛之	たかた ひろゆき	1984	東京都
121	原 知継	はら ともつぐ	1982	神奈川県
122	池松 龍介	いけまつ りょうすけ	1980	千葉県
123	関間 亮	うるま りょう	1978	東京都
124	猪口 琢哉	いのぐち たくや	1978	埼玉県
125	永野 貴裕	ながの たかひろ	1978	千葉県
126	仲木 威雄	なかき たけお	1977	東京都
127	越塚 岳広	こしづか たけひろ	1976	千葉県
128	小池 正治	こいけ しょうじ	1976	東京都
129	鈴木 健悟	すずき けんご	1976	東京都
130	馬場 大輔	ばば だいすけ	1975	東京都
131	鈴木 澄人	すずき すみと	1975	東京都
132	幸嶋 晶	ゆきしま あきら	1975	東京都
133	吉田 雅之	よしだ まさゆき	1974	神奈川県
134	栗原 薫	くりばら かおる	1974	群馬県
135	秋山 充二郎	あきやま みつじろう	1971	東京都
136	正木 英二	まさき えいじ	1971	神奈川県
137	雨宮 雄一	あめみや ゆういち	1971	東京都
138	南木 純	みなき じゅん	1970	東京都
139	海老原 武	えびはら たけし	1969	茨城県
140	中田 幸夫	なかた ゆきお	1969	北海道
141	堀越 和彦	ほりこし かずひこ	1969	千葉県
142	橋本 洋一	はしもと よういち	1968	東京都
143	小路 庸訓	しょうじ やすのり	1965	東京都
144	田崎 富士夫	たざき ふじお	1963	東京都
145	秤屋 尚生	はかりや ひさお	1960	千葉県
146	生田 哲	いくた てつ	1956	東京都
147	沖村 政則	おきむら まさのり	1953	東京都
148	中島 安興	なかしま やすおき	1949	富山県
149	峰田 正隆	みねた まさたか	1943	東京都
161	松山 文人	まつやま あやと	1967	神奈川県

WAVE 7 日本エイジグループアクアスロン選手権【女子】

スイムキャップ：ピンク

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
150	山崎 心菜	やまざき ここな	2007	千葉県
151	木村 花奏	きむら かなで	2004	東京都
152	吉田 莉恩	よしだ りのん	2004	東京都
153	原田 采奈	はらだ あやな	2000	愛知県
154	荻野 友希	おぎの ゆき	1998	群馬県
155	木村 綾愛	きむら あやめ	1997	埼玉県
156	川久保 恵里	かわくぼ えり	1991	奈良県
157	三井 遼香	みつい はるか	1990	愛知県
158	佐久間 淑江	さくま よしえ	1977	東京都
159	白戸 彩子	しらと あやこ	1968	東京都
160	鈴木 香	すずき かおり	1966	東京都



RUN

SWIM

エイドステーション ★

折り返し ▲

計測マット

会場周辺MAP



海の森水上競技場

(東京都江東区海の森3丁目6番44号)

交通アクセス

- 会場にはお車あるいはバス(専用および臨時)でお越しください。自転車や徒歩での来場はできない立地となります。ご注意ください。
- 駐車場は300台以上駐車可能です(駐車料金 500円/台・終日)。
- 国際展示場駅もしくは有明駅から会場まで、無料シャトルバス(1時間に1本)がごございます。
大会当日は、交通規制の関係でシャトルバスの運行は右記の通りとなります。

無料シャトルバス(7/12 アクアスロン大会)

	国際展示場駅 発	海の森 発
6	45(スタッフ限定)	
7	20	40
8	00	40
9	00	40
10	00	40
11	00	40
12	00	40
13	00	40
14	00	40
15	00	40
16	00	40
17	00	45
乗場	ジャガー・ランドローバー 有明店前の一般乗降所	グラウンドスタンド棟前

大型バス(路線バス型)



一般社団法人

東京都トライアスロン連合

【大会ホームページ】 <https://www.mspo.jp/uminomoriaq03/>

【大会に関する問い合わせ】 大会ホームページのお問い合わせフォームにご入力ください。

【当日の緊急連絡先】 090-9973-5744(TMTU大村) 090-8807-0500(TMTU片倉)